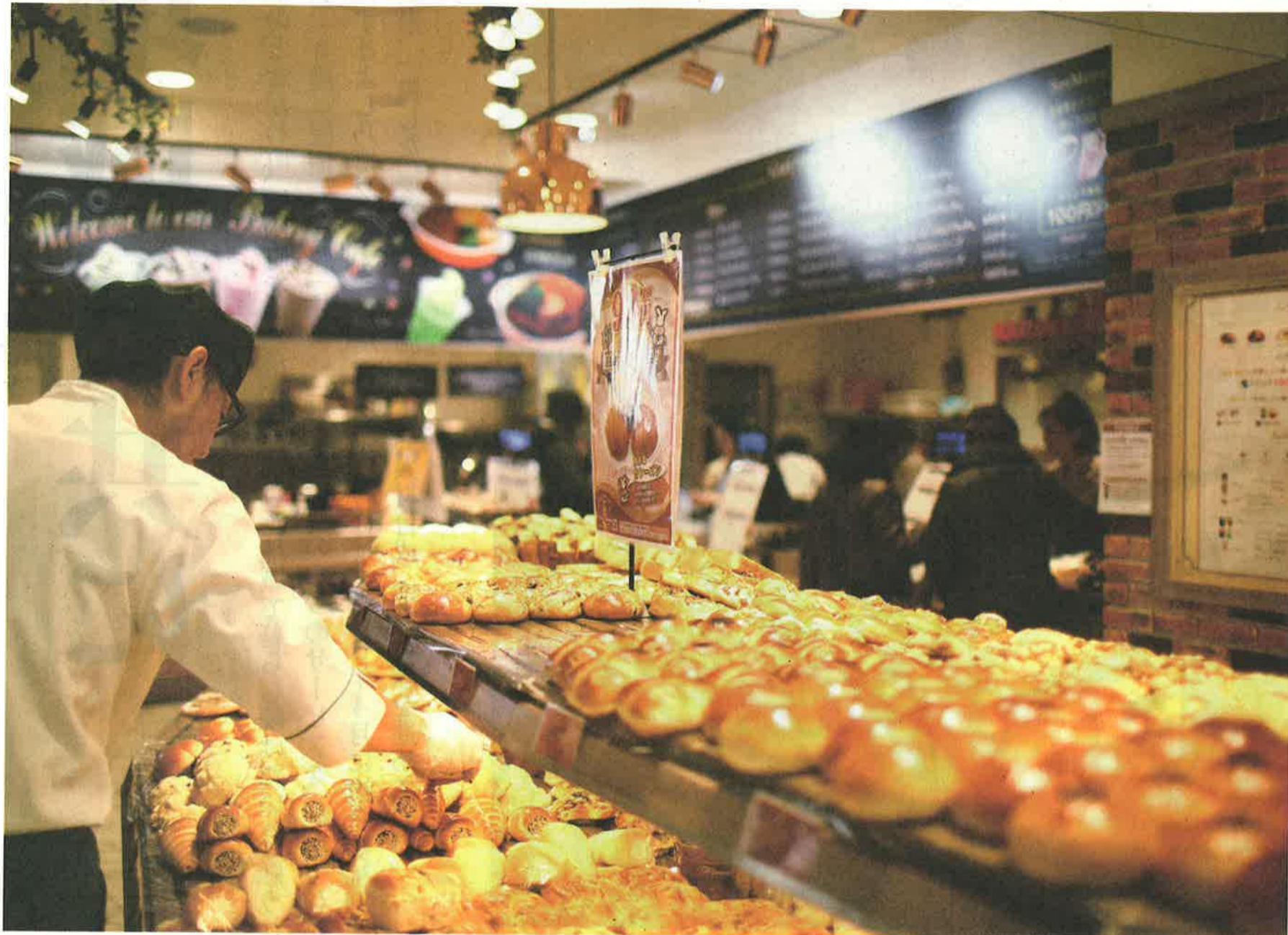


STORY
Turning Point →

aqua



毎朝生地から手作りする100種類以上のパンが並ぶ「ブーランジェベーグ」



今年9月25日、セキチュー上尾店にオープンした「ブーランジェベーグ」では、北海道の江別製粉と共同開発した北海道小麦ブレンドのオリジナル小麦粉を使用。従来品に比べてパンのうまいを引き立てつつ、食感の良さと小麦の風合いあう香りを楽しむことができる。

幼い子ども3人を抱えて離婚した徳永社長は、35歳で大宮市(当時)の実家を出て浦和市(同)岸町のマンションで暮らしていた。子どもたちを文教都市浦和の名門、高砂小学校、岸中学校に通わせたいとの思いからだつたが、シンゲルマザーとして働きながら6歳・4歳・2歳の子を育てるのは厳しかった。そんな時、食事にもお菓子にもなるパンにはずいぶん助けられた。徳永社長にどつても、パン店は身近な存在だったのだ。

しかし、2000年、上尾市にオープンしたベーカリーは間もなく苦境に陥る。そんな時に立ち寄った100円均一ショップに徳永社長は衝撃を受けた。何でもパン店は身近な存在だったのだ。

これを待ち込もうと打ち出したのが「100種類10

重い障害を抱える弟がいつまでも安心して働ける道を開きたい。そう思つて立ち上げたベーカリー事業は会社を成長させる礎になり、運営するベーカリー・カフェ「ブーランジェベーグ」は21店舗に広がつた。来年4月には、さいたま市中央区の与野公園内に22店目がオープンする。原点の思いは「全てのお客様が100歳まで幸せに楽しく暮らせる環境」の実現を目指すというクレド(行動指針)に生きている。

健康の原点

おいしさと

ベーカリー、フード、スイーツアミューズメントと幅広い事業を展開するアクア(さいたま市南区)。ホーミーセンターのフードコートで運営する飲食店も含めると全体の店舗数は60を超えて、年間で約370万人のお客様が利用する。

徳永奈美社長の7歳下の弟、広正さんは重度の難聴を抱え、就労も難しいのが実情だつた。将来を気にかけていた徳永社長は施設でパンを焼く障がい者の姿を見て「これなら」とベーカリーの開業を思い立つ。

幼い子ども3人を抱えて離婚した徳永社長は、35歳で大宮市(当時)の実家を出て浦和市(同)岸町のマンションで暮らしていた。子どもたちを文教都市浦和の名門、高砂小学校、岸中学校に通わせたいとの思いからだつたが、シンゲルマザーとして働きながら6歳・4歳・2歳の子を育てるのは厳しかった。そんな時、食事にもお菓子にもなるパンにはずいぶん助けられた。徳永社長にどつても、パン店は身近な存在だったのだ。

これを待ち込もうと打ち出したのが「100種類10

0円パン」のコンセプト。反発した職人が何人も辞めていったが、あきらめなかつた。「お客様に喜んでもらうパン作りは決して間違つていらない」と盛り返した。

栃木県のジバホーム足利堀込店に出店したインスト

アベーカリーはいきなり前任他社の6倍の売り上げを

たたき出した。マミーマー

ト坂戸八幡店オープンの際

には「あのベーカリーがテ

ナントで入るなら」と地権者から「逆指名」を受けた。

今年9月、セキチュー上

尾店にオープンした新店

は、北海道産の江別製粉と

共同開発した北海道小麦ブ

レンドの専用小麦粉を使

用。これからは味だけでは

なく安全性に配慮した商品を

広げていく考えだ。来年4

月には、さいたま市の与野

公園内に22店目となるブ

ランジェベーグのベーカリ

ーをオープンする。

・スーパー・ビバホームやカ

インズホームなどフードコ

ートで運営する飲食店も好

調で、13拠点6業態40店舗を展開中だ。

広正さんは今、ブーラン

ジエベーグの埼玉大井店で

パン職人として働き、充実

した日々を送っている。

徳永社長は、「人を育てながら

成長するビジネスモデルを確立することことができた。こ

れを貫き、おいしさと健

康を追求することで次のステ

ージを目指したい」と語る。

平成12年(2000)

ベーカリー事業
「ブーランジェベーグ」を
スタート



徳永奈美社長(左)とベーカリー開業のきっかけとなった弟の広正氏。現在はベーグでパン職人として働く。

平成15年(2003)

飲食事業「福よし」を
スタート



ホームセンター内のフードコート事業も拡大。現在ではスーパー・ビバホームやカインズホームなど13拠点6業態40店舗を展開中。

平成29年(2017)

アクアアカデミー
(社内大学)開校



社員の行動指針であるアクアアカデミー(社員手帳PDCA自己向上ノート)は8年目8冊を発行。人材育成や従業員教育に注力してきた。

令和5年(2023)

徳永社長が法政大学経営大学院イノベーションマネジメント研究科経営学修士(MBA)課程修了



徳永社長は50歳の時、日本大学法学部に入学。その後、法政大学経営大学院イノベーションマネジメント研究科に入学。小川孔輔教授(左)のMBAコースに在籍し、マーケティングのほかMBAプログラムを学ぶ。

未来へ To the future



2019年3月竣工の本社ビル

女性を経営に生かす中小企業型働き方改革・
女性が光り輝く社会を築く

働く女性がそれぞれのライフスタイルの中で働き、高い生産性を上げるためにDXを実践。人生100年時代、高齢者も同様に活躍出来るスタイルを構築。「デジタル」に「リアル」を効果的に重ねる。日本のパンの美味しさは突出している。魅力的な日本製のパンの技術を世界へ拡散する。



▶社名 株式会社アクア
▶代表者 代表取締役社長 徳永 奈美
▶所在地 〒336-0023 さいたま市南区神明1-4-15 TEL: 048-829-9504 FAX: 048-829-9506
▶事業内容 1. ベーカリー、菓子製造、カフェの経営 2. 大型ショッピングセンター等フードコート飲食店の経営 3. アミューズメント施設の経営 4. オーツ麦を使用した商品の輸入販売代理店